

第 80 号

令和5年2月 定例会
令和5年5月1日 発行

編集発行
大分県津久見市議会 ☎0972-82-9518

題字は津久見高校書道部です

津久見市議会だより

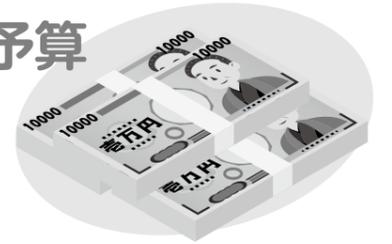
- ◎ 令和5年度の予算 …………… P 2
- ◎ 市政を問う(一般質問) …………… P10
- ◎ つくみの宝 …………… P16

白蓮幼稚園

令和5(2023)年度 一般会計予算

前年度比23.4%増 137億 3,300万円

予算



広がる! 子育て支援

保育料全面無償化

継続 ○ 特定教育・保育施設型等給付費
..... 4億5,010万3千円

- 国の施策 3～5歳児全員、3歳未満の住民税非課税世帯の子どもの保育料等が無償化(令和元年10月から)
- 大分県の施策 「にこにこ保育事業」… 3歳未満の第2子以降を全額減免

新規 ○ 保育料支援事業… 1,101万7千円

- 津久見市独自の施策 3歳未満の第1子の保育料を無償化

新規

児童クラブ基本利用料全額補助
..... 660万円

継続

子ども医療費助成事業… 4,410万円
未就学児及び小・中学生の医療費を無料化

津久見市独自の事業です!!



特別会計57億2,454万円(介護・国保など)

津久見中学校開校(令和6年4月開校予定)へ!

中学校建設事業
7億9,549万4千円

令和5年度事業分

改修工事中の学習環境の整備を!

…教室移動・騒音対策等をしっかりと!



改修工事中の一中校舎

食物アレルギー対応の給食提供に向けて!

共同調理場整備事業
1億645万3千円

学校給食を1か所拠点方式へ移行するための改修、食物アレルギーに対応するための増築を行う



共同調理場増築予定地

新庁舎建設事業

令和 5 年度予算額

..... **22 億 1,950 万 1 千円**



地上一部 5 階建て
 柱頭免震構造
 鉄筋コンクリート造
 建築面積 2,195m²
 延床面積 6,061m²
 避難所面積 1,050m²
 (約 1,000 人避難可能)
 高さ 23.75m

財源内訳：建設事業費 37 億 1,600 万円

地方債（借金）..... 32.16 億円
 （うち、市の負担額 12.26 億円）

国庫補助金 1.32 億円

庁舎基金（預金） 3.68 億円

合 計 37.16 億円

この他に、移転費用や備品購入などで2.42億円を予定

総事業費は約 40 億円に！

路線バスや乗合タクシーを 利用しよう!

路線バス運行補助金
…………… 1,200 万円

その他、乗合タクシー運行など地域公共交通活性化協議会に810万円支出します。



乗合タクシー

ごみの減量化を!

可燃ごみ広域処理事業

…………… 1 億 1,289 万 5 千円

収集後、大分市の佐野清掃センターへ運び、処理するための費用。

ごみ中継施設整備事業 (令和 5 年度予算分)

…………… 3 億 8,093 万 4 千円

可燃ごみを効果的に運搬するために、中継施設としてドリームフューエルセンター内の工事を行う。

予 算 常 任 委 員 会

●令和 5 年度一般会計予算について

結 反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

他 新庁舎建設に関する予算について、次のような附帯決議を、賛成多数で可決しました。

〈 附帯決議の内容 〉

市民に対し説明会を開催し、庁舎概要、建設事業費、財源内訳、後年度負担等、丁寧に説明し、市民から広く理解された上で、新庁舎建設の予算執行をすること。

結 以下の 7 特別会計、2 事業会計の令和 5 年度予算については、いずれも全会一致で可決しました。

- 国民健康保険事業特別会計
- 津久見都市計画土地区画整理事業特別会計
- 奨学資金事業特別会計
- 簡易水道布設事業特別会計
- 津久見市後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業特別会計
- 保戸島航路事業特別会計
- 津久見市水道事業会計
- 津久見市下水道事業会計

2月定例会

会期：2/28~3/17
(18日間)

総務常任委員会

●津久見市消防団条例の一部改正について

説 消防団員の処遇改善を図るため、総務省消防庁の通知や、県内各地の状況を勘案し、消防団員の報酬を引き上げる条例改正をするものです。

結 全会一致で可決しました。



消防団格納庫

●津久見市個人情報保護法施行条例の制定について

●個人情報の保護に関する法律の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

説 「個人情報の保護に関する法律」が改正され、これまで別々にあった個人情報の取り扱いに関する規定が、令和5年4月から全国ルールとして一本化されるため、新たに施行条例を制定し、関係条例を一括して改正するものです。

結 いずれも、反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

●津久見駅の安全対策等に関して市として要望・協議することへの請願

説 令和4年12月15日に津久見駅構内で線路上にいた高齢者の女性が、列車にはねられ死亡する事故がありました。

津久見市身体障害者福祉協議会から提出された請願内容は、事故の原因究明、検証報告と駅員の在駐時間帯を延長すること等について、議会と市がともにJR九州に要望し、協議することです。

結 全会一致で採択しました。

社会文教建設常任委員会

●津久見市国民健康保険条例の一部改正について

説 国保加入世帯の出産費用負担を軽減するための改正です。出産育児一時金を8万円増額し48万8千円とし、産科医療保障制度の掛金の加算額1万2千円を合わせ、合計50万円支給します。出産費用が一時金の50万円より少ない場合、市はその差額を被保険者に通知し、市に請求していただき被保険者に支給します。

結 全会一致で可決しました。

●津久見市漁港管理条例の一部改正について

説 漁港施設使用料は、県条例を基準に設定していましたが、停係泊船料及び土砂採取料に差異があるため、金額を合わせるものです。

結 全会一致で可決しました。

●津久見市漁村センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

説 漁村センターの使用について、これまで営利目的の使用は制限していましたが、つくみイルカ島を利用し、地域振興や地域活性化のための観光・学習交流などで一体的な活用で賑わいを創出する目的で行われる行事等であれば、営利目的でも使用できるよう、改正するものです。

結 全会一致で可決しました。



漁村センター（つくみイルカ島横）

●津久見市子ども・子育て会議条例の一部改正について

説 「子ども家庭庁」の設置に伴う関係法令の整備により、改正を行うものです。

結 全会一致で可決しました。

●津久見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

説 民法上、親権者が、子どもの懲戒をすることができる定めがありましたが、懲戒と虐待の区別がつかず、虐待の温床等になっているとの批判があり、関連法令も含めて懲戒に関する条文そのものを削除するため、条例の一部を改正します。

結 全会一致で可決しました。

●津久見市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

説 近年各地で発生している園児のバス等への置き去り事件を受けて、幼児等の所在確認と安全装置の装備に関する規定が法令に追加されました。それらに伴う改正です。

結 全会一致で可決しました。

●津久見市企業立地促進条例の一部改正について

説 現行の条例では、資本金が多くない法人には、制度が利用しにくい状況がありましたので、資本金等に応じて、条件の緩和をするものです。

結 全会一致で可決しました。

●公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議について

●他の普通地方公共団体の公の施設を津久見市の住民の利用に供させることに関する協議について

説 大分市を中枢市とし、別府市、臼杵市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町、津久見市の7市1町による「大分都市広域圏」を平

成28年3月に形成し、公共施設の相互利用の協議を行っています。

その一つとして7市1町の15図書館の相互利用ができるようにするものです。

結 いずれも、全会一致で可決しました。

●指定管理者の指定について(津久見市臨海観光交流施設多目的広場(つくみイルカ島サイドパーク))について

説 指定管理者として、津久見市観光協会を指定するもので、期間は1年間です。

結 全会一致で可決しました。

●指定管理者の指定について(津久見市観光交流館(つくみマルシェ))

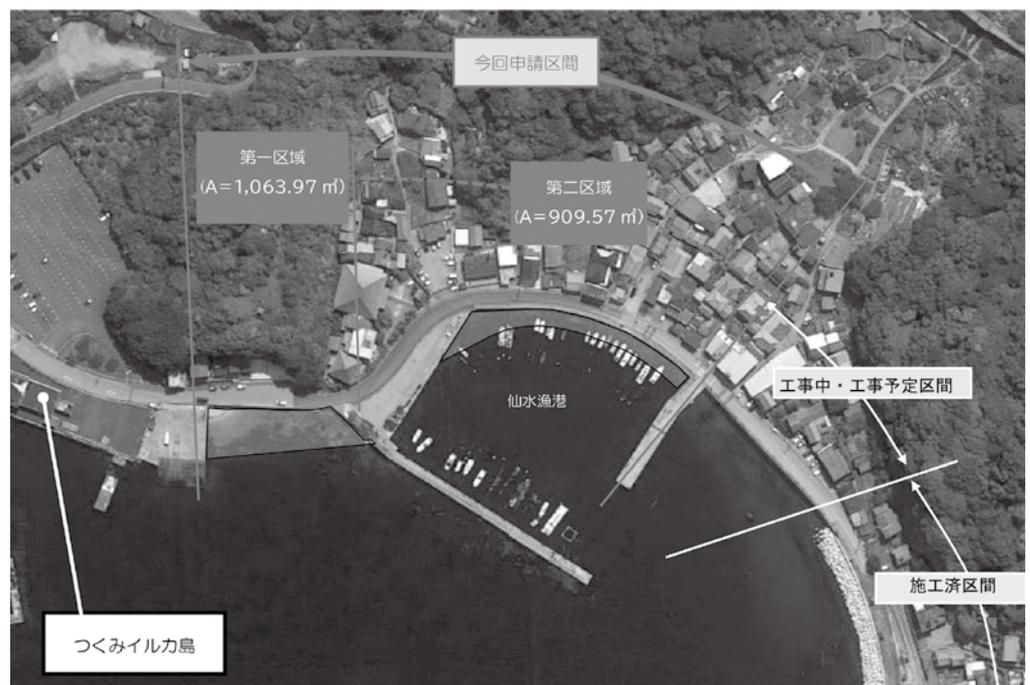
説 指定管理者として、津久見市観光協会を指定するもので、期間は1年間です。

結 全会一致で可決しました。

●公有水面埋立てに関し意見を述べることに

説 大分県知事より仙水漁港区域内の鳩浦地区の第1区域1,063.97m²、第2区域909.57m²、合計1,973.54m²を、道路用地、ふ頭用地として埋め立てを行うことについて意見を求められたので、議会の議決を求めるものです。

結 全会一致で可決しました。



仙水漁港

○教職員が地域とつながり、地域に根差した教育活動ができるための環境づくりを求める意見書(案)

説 新採用教員に対する人事異動ルールが各県によって異なり、大分県では現在の異動ルールに変更してから、教員の希望者数が減っているため、制度の見直しを求めるための意見書です。

結 反対討論があり、採決の結果、賛成少数で否決されました。

予算常任委員会

●専決処分の承認を求めることについて(令和4年度一般会計予算の補正)

説 主な内容は、国の出産・子育て応援交付金、瀬戸石川災害復旧工事の増額などです。

結 全会一致で承認しました。

●専決処分の承認を求めることについて(令和4年度公共下水道事業特別会計予算の補正)

結 全会一致で承認しました。

●令和4年度一般会計予算の補正について

説 3億2,114万6千円を減額し、総額を121億4,943万6千円とするものです。

結 反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

結 以下の6特別会計、1事業会計の令和4年度予算の補正については、いずれも全会一致で可決しました。

- 国民健康保険事業特別会計
- 簡易水道布設事業特別会計
- 公共下水道事業特別会計
- 津久見市後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業特別会計
- 保戸島航路事業特別会計
- 津久見市水道事業会計

令和5年度予算については、5ページに掲載。

その他の議案

●人権擁護委員候補者の推薦について

説 吉良松美氏(再任)、宮崎勝浩氏(新任)を推薦するため、議会の意見を求めるものです。

結 全会一致で適任である旨可決しました。

●津久見市議会の個人情報保護に関する条例の制定について

説 「個人情報の保護に関する法律」が改正され、令和5年4月から施行されるにあたり、市と別に市議会独自で条例を制定するものです。

結 反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

●津久見市議会基本条例の一部改正について
●津久見市議会委員会条例の一部改正について

○厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書(案)

結 いずれも、全会一致で可決しました。

議案の賛否表

賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
○:賛成 ●:反対 棄:棄権 欠:欠席

議案名	島田勝	倉原英樹	丸木一哉	菊池正一	井戸川幸弘	黒木章三	高野至	塩崎雄司	谷本義則	黒田浩之	宮本和壽	高野幹也	知念豊秀	西村徳丸
令和4年度一般会計予算の補正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○
令和5年度一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○
津久見市個人情報保護法施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○
個人情報の保護に関する法律の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○
津久見市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○
教職員が地域とつながり、地域に根差した教育活動ができるための環境づくりを求める意見書(案)	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●		○	●

議会のあり方に関する特別委員会 最終報告

【活動内容】

- 市民及び各種団体との意見交換会を4回行った。
- 特別委員会を12回、小委員会を12回開催した。

【結果】

- 議員定数を14人から12人に変更。→令和4年第3回（9月）定例会で条例改正。
- 議員報酬の引き上げ→令和4年第4回（12月）定例会で条例改正。

議長	383,000円	→	402,000円
副議長	333,000円	→	349,000円
議員	310,000円	→	325,000円

【今後の課題】

- 選挙費用の公費負担について引き続き執行部、選挙管理委員会と協議を行っていく。
- 「議会活動の見える化」「積極的に議会の情報発信を行う」等の方法について協議を行う。

庁舎建設特別委員会 最終報告

【特別委員会の目的】

庁舎建設、これに付随するもの、関連施設等の整備に関する調査

【調査項目】

- 庁舎建設について
- 集客交流拠点施設（道の駅等）について
- 交通体系（交通網の確立）について（新庁舎周辺の道路環境等の整備に関すること）

【委員会等の開催状況】

- 特別委員会～19回開催（うち11回は市執行部出席による協議、議案審査等）
令和2年10月に、宇佐市・豊後高田市の市庁舎建設について視察
- 新庁舎建設に関する小委員会（令和3年4月設置）～17回開催

【市執行部へ提出した議会からの提言・要望等】

- 新庁舎建設に係る基本設計、実施設計についての要望書（令和3年6月提出）
- 新庁舎議会部門に関する意見の提出について（令和3年8月提出）
- 新庁舎建設基本設計（素案）に関する意見の取りまとめについて（令和4年1月提出）



市政を問う 一般質問

3月7日(火)・8日(水)

9 議員が登壇 傍聴者延べ 27 名



顔写真横の
二次元コードから
各議員の一般質問
の動画をご覧いた
だけます。

津久見市議会録画映像インターネット配信▷ <http://www.kensakusystem.jp/tsukumi-vod/index.html>

将来の共生社会にむけて

くらはら ひでき
倉原 英樹



問 津久見市の障がい者雇用の現状について
答 令和4年6月1日現在、正規職員、会計年度任用職員を合わせ、市長部局では上肢不自由、下肢不自由、心臓機能障害、精神障害など9人の雇用、教育委員会部局では雇用なしとなっています。

問 今後の取り組みについて
答 国や地方公共団体の法定雇用率は、現在2.6パーセントですが、令和8年度には3.0パーセントに引き上げられることが見込まれています。雇用率の達成を遵守しつつ、障がいのあるなしに関わらず、誰もがその能力と適性に合った雇用の場に就き、働きやすい環境を整えることが必要であると考えています。



共生社会の実現に向けた取り組みについて

問 地域の課題について
答 人はそれぞれ違った立場、違った環境の下で生活しており、抱える問題も様々です。津久見市においても複数の要因が絡みあって困り事となり、複雑化していると考えられます。

問 障害者差別解消法に基づく市条例制定の必要性について
答 条例制定は、市の意思を明確にするものであり、条例を制定することそのものが目的ではありません。地域共生社会の実現には、まず、その趣旨、必要性を理解することが大切です。今後も啓発活動を続け、多くの市民に理解してもらい、取組を進めていきます。その中で、条例制定についても検討していきます。

市道岩屋線道路改良について 空家対策について

たかの
高野 いたる
至



市道岩屋線道路改良事業の進捗状況及び
岩屋交差点（ラウンドアバウト）について

問 市道拡幅による移転家屋の移転交渉の進捗状況はどのようになっていますか

答 約 330m の区間を改良し、全線で 11 軒の移転が必要となります。令和 4 年度では 5 軒の方と契約を結び、令和 5 年度も引き続き用地等の補償を実施します。

問 今後の事業予定について

答 令和 5 年度は JR 踏切拡幅の詳細設計、さらに用地等の補償の進捗状況によりますが順次道路の工事に着手していきます。

問 ラウンドアバウトとなった経緯と交通車両の制限について

答 「重大事故の抑制につながる」「移転家屋が少ない」などから決定しました。また、通行可能車両は、12メー

トルまでの大型観光バスが通行できます。

津久見市空家対策計画について、また、
危険な空家対策について

問 平成 30 年に策定された空家等対策計画期間が令和 3 年度末までとなっていますがこの計画見直しについて

答 令和 4 年度に空家の調査を行った結果は、空家総数は 943 件、内、利活用が困難と思われる空家が 253 件、利活用が可能と思われる空家が 690 件の結果となりました。現在、県と協議の上、今年度の調査結果を踏まえ令和 4 年度中に改訂する予定としています。

問 危険な状態の空家について

答 家屋等の適正な管理に関する情報通知等を行い、今後は、特に老朽化が著しく、近隣住民の生活に支障をきたすと思われる家屋等については、法律に基づく取り組みを進めていくことが必要になると考えられます。

市民の命を守る救急車の買い換えを

まるき かずや
丸木 一哉



問 救急車の年間出動回数はどうなっていますか

答 令和 3 年は 1,025 件、令和 4 年は 1,192 件です。このうち転院搬送は、令和 3 年は 243 件、令和 4 年は 268 件です。

問 同時に 2 台以上の出動の件数とその対応はどうしていますか

答 令和 3 年は 145 件、令和 4 年は 214 件です。現在の勤務体制は、毎日勤務者 8 名、隔日勤務者 28 名となっています。隔日勤務者を 2 小隊に分け、人員配置をしています。

問 3 台同時に出動した件数は何件ですか

答 令和 3 年が 7 件、令和 4 年が 17 件です。

問 現在の救急車の状況はどうなっていますか

答 救急車は 2 台体制で運用し、予備車を 1 台保有しています。年数・走行距離については、救急 1 号車が約 13 年経過、256,300km、救急 3 号車が約 5 年経過、89,007km であり、予備車の救急 2 号車は約 22 年経過、161,447km です。

問 更新（買い換え）の目安と計画は、どうなっていますか

答 いずれの車両等整備についても、日々点検等を行い、整備を行っているところであり、万が一の場合に備えて予備車も保有している状況です。車両の更新等については、救急車の更新に係る指針や基準はありませんが、点検等で適切に車両の状況を把握する中で検討していきたいと思っております。

問 更新（買い換え）の計画はないのですか

答 現在はありません。

農業振興について

にしむら とくまる
西村 徳丸



問 小規模農業生産基盤整備事業とカラス被害について

答 長目地区で大型の基盤整備事業が今年より実施されます。今後は、津久見市の地形上、国庫事業の5ha以上の面積確保が難しいのが現状です。

みかん栽培を始めたい若者がおり、新たな担い手を確保するため、耕作条件の良い農地が確保できるよう、各団体と協議を進めたい。

カラス被害は深刻で、年明けに集中して被害にあっています。対策は、駆除だけでなく防除も必要なので、前向きに取り組んでいきます。

問 第9期介護保険事業について

答 第8期計画では介護保険料を抑えるため、介護給付費準備基金を全額取り崩す計画です。基金がなくならないように健康で自立した

生活ができる介護予防が必要です。

9期計画では基金を繰り入れ、保険料軽減の考え方もありますが、介護給付費等、状況をみながら策定委員会で検討します。

問 津久見高校の進学率向上と野球部寮について

答 津久見高校は少人数授業で学習指導しています。高校への支援は令和5年度に452万円に増額し、進学率向上等を支援しますが、さらに有効な支援を協議し、実現可能な支援を計画、準備を進めていきます。

野球部寮については満員40人でスタート。第二中学校跡地は、公民館や野球部寮も含め、「どのような活用が津久見市民にとって有効であるか」を多方面から検証し、有効に活用します。

地球温暖化への取り組みと頻発する自然災害から市民の命をいかに守るか

いどがわ ゆきひろ
井戸川 幸弘



問 津久見市は日本一の石灰石のまちとされていますが、石灰石は太古の地球に膨大にあった二酸化炭素を海底や地下に封じ込めた石であり、これを長年採掘している津久見は地球温暖化に直接関わっているまちです。

そのため昨年セメント協会は脱炭素社会への取り組みとして「カーボンニュートラルを目指すセメント産業の長期ビジョン」を示し、今後津久見市内でも工場などから排出される二酸化炭素の回収や二酸化炭素に水素を反応させメタンにするメタネーションなどの技術開発に取り組むようです。セメント業界の脱炭素に向けた取り組みに津久見市は今後どう関わっていきますか。

答 メタネーションなどについて本市が関わるのは津久見港カーボンニュートラルポート検討会で、この検討会では次世代のエネルギーの将来需要の推計や利活用の方策とともに、これ

らに必要となる港湾施設の規模配置について検討されています。本市としては引き続きこの検討会に参加し、津久見港立花地区の埋め立てなどの港湾整備や企業の誘致による地域の活性化につなげていきたいと考えています。

今後頻発化する異常気象への備えについて

問 2022年は猛暑の長期化と大型台風襲来、冬季には大寒波と気象の極端現象が頻発した年でした。今後は地球温暖化の進展で気象の極端現象が頻発化すると考えられていますが、市民の命をどう守っていきますか

答 平成29年の台風災害以降、河川改修や砂防ダム、急傾斜対策工事など防災減災の対策工事が進められています。今後も災害への備えを進め、早めの避難を呼びかけるなど、市民の安全安心の確保に努めていきます。

マイナンバーカードで 行政サービス向上を

くろだ ひろゆき
黒田 浩之



問 マイナンバーカードの申請状況は

答 令和5年1月末時点で、申請件数は12,232件、申請率は75.0%で、県内2位です。

問 マイナンバーカードを活用した行政サービス向上の取組みは

答 令和4年4月1日から、住民票等の各種証明書が取得できるコンビニ交付サービスを開始し、令和5年1月末までの利用件数は、395件です。印鑑登録証明書の交付について、令和4年11月14日から市や出張所の窓口で、印鑑登録証の代わりにマイナンバーカードの提示で証明書の交付を可能とし、令和5年2月末までに33件40通の交付実績です。

令和5年2月6日から、マイナポータルを通じたオンラインで転出届の提出、転入・転居時の来庁予定の連絡が申請可能となり、転出届の利用実績は2月末までに15件です。

その他、児童手当の現況届、不在者投票に係る投票用紙等の請求等利用しています。

今後も、24時間365日いつでも、どこからでも行うことができる「書かせない・待たせない・来させない窓口」を目指し、取組みの検討を重ねていきます。

ふるさと納税について

問 寄附を有効に活用し、寄附していただいた方に報告し、有効に使われたことを実感していただくことで、また寄附しようと感じていただき、次の寄附につなげる取組みが必要だと考えますが、市の考えは。

答 返礼品開発と併せ、どのように取り組んでいくか、早急に考えていきます。

他に、人口の見通しについて質問しました。

各自治区からの生活環境整備の 要望への対応は

みやもと かずとし
宮本 和壽



問 各自治区から市に要望される生活環境のインフラ整備について、区長から市に要望しても予算がないと言われるのを聞くが、年間の要望件数と事業実施の状況や優先順位の判断はどうして決めるのか。また、要望未実施の件数と未実施の取り扱いはどの様になっているのか。

答 各地区から提出される全ての要望書は、地区への聞き取りの後、市長協議を行い事業の有無について各地区に回答しています。

令和3年度に土木管理課で対応した件数は25件で、これまでに15件は補修などの処理を終わらせています。未実施の10件については、3件は危険度が低いと判断し、経過観察としており、他の7件は、実施に向けて調査や測量・設計を要する案件や、里道の舗装などで、利用者にて補修をお願いしているもの、また、大規模な工事となる可能性があるため事業計画を作成し、補助事業での実施を検討するもの等で未実施になっています。

街なか観光拠点計画について

問 街なか観光拠点整備に向けた基本計画の概要版を精査すると、概算事業費が8億1千万円、年間来場者数の目標値を30万人と見込んで事業収支を想定しているなど、施設の規模、施設の運営計画に無理はないのか。

また、街なか観光拠点施設計画周辺だけをメインとせず、中央町周辺の商業小売業の振興を今後どのように取り組んでいくのか、賑わい創出への政策や事業計画はないのか。

答 街なか観光拠点整備計画については、これから実現可能性調査後に対話型市場調査等を踏まえ、具体的な施設の規模、運営計画が明らかになっていくことから、今後予定している調査等の状況次第と考えています。

また、中央町周辺の商業小売業の振興と賑わい創出への取り組みは、様々な角度から検討を行い、街なか観光施設の来場者が回遊する新たな人流や事業者の創意など、市としても積極的に協働していきます。

コロナ禍から3年! 新たな観光施策を!!

しまだ まさる
島田 勝



問 アフターコロナの観光は

答 つくみイルカ島及びその周辺施設を活用する形で教育観光の誘致に向けて取り組みをしていく予定です。そして、コロナ禍で培われたテイクアウト商品の有効活用も含めて、直接津久見にお越しになる観光客等への更なる「稼ぐ観光への取り組み」を推進していきたいと考えています。

問 つくみん公園から中心市街地へ今後どのように人の流れを作るのか

答 金融ゾーン整備の一環として、角崎公園改修工事を行い、「海岸通公園」の愛称でリニューアルオープン、さらに、津久見川河川敷の整備が令和6年度に完成予定となっており、「居心地がよく歩きたくなるまちづくり」に向けて事業展開しています。これらのハード整備と市民の皆様の意見を伺いながら、ソフト事業を融合するとともに、つくみん公園利用者の更なる中心部への誘客に努めます。

津久見市管理漁港の現状はどうなっているのか!!

問 管理漁港の船舶の種類と隻数は

答 市が管理する漁港内の船舶は、漁船とプレジャーボートの2種類に分類されます。漁船は327隻、プレジャーボートは62隻、合計389隻となっています。

問 漁港施設の維持管理は

答 25地区の9漁港が市の管理漁港ですが、漁港内だけでなくその周りの護岸も海岸保全施設として取り扱うため、かなり広範囲になります。今までに、大規模な改修から小規模な改修まで実施し、現在の状況になっています。小規模な改修は予算を確保し随時実施していき、大規模な改修は、県などと協議をしながら、補助金等を活用して実施していければと考えています。

少子化対策に学校給食費無償化を

ちねん とよひで
知念 豊 秀



問 給食費の無償化は市民の大きな願いです。検討すべきではありませんか。

答 無償化については、通常の給食費でも約4,300万円必要です。必要な予算を毎年継続するには、まだまだ計画と準備が必要です。

問 子どもがほしくても、経済的理由で断念する事がないようにする対策はありますか。

答 津久見市奨学資金事業があります。高校1年生に毎月5千円、2年生に毎月6千円、3年生に毎月7千円贈与しています。津久見高校保護者に入学準備金として1人当たり10万円を貸与しています。大学生には、卒業後市内に6年以上、居住したら返済未済額の2分の1を免除する制度になっています。

問 「ゼロカーボン宣言」した方が、行政の方向が明確になるのではないですか。

答 現在カーボンニュートラル(CNP)形成計画の策定の検討が始まったところです。

市や市内企業の問題だけでなく、国や県の動向を注視しながら、検討します。

※地域新電力に関する自発的な調査・研修に対応できる窓口を設置するように要望しました。

新庁舎建設地について

問 大分県から確実な避難に向けて「津波災害警戒区域」指定のお知らせがありました。市民に対して、なぜ津波災害警戒区域の「津久見港青江地区埋立地」に建設するのか、説明が不十分です。市民は、いまだ納得していません。

答 これまで、市民委員会等の各委員会、市民アンケート、パブリックコメント、地区懇談会等、十分説明責任を果たしてきました。

津久見高校生との意見交換会 & 議会体験学習

1月27日(金)、津久見高校普通科1年生20人、市議会議員14名が参加し開催しました。

意見交換会では、生徒が5グループに分かれ、各グループのテーマにそって説明と質疑があり、課題や解決方法など活発な議論が交わされました。意見交換会終了後、議場で議会体験学習会を開催し、各グループで議論した内容について、代表者から報告発表がありました。

終了後に記念撮影を行い、生徒代表 ^{たけや} 武谷 ^{ひかる} 輝 さんからお礼の挨拶がありました。



Aグループ
テーマ「津久見市の中身について」



Bグループ
テーマ「今後の津久見市について」



Cグループ
テーマ「津久見の未来形」



Dグループ
テーマ「ツクミドリーム」



Eグループ
テーマ「津久見市の課題について」

佐賀県伊万里市議会が来津

1月24日(火) 佐賀県伊万里市議会広報広聴委員会(議員7人、事務局1人)が、津久見市議会に来庁し、行政視察、意見交換しました。

調査事項

- ・市議会だよりについて(令和2年から横書きへ変更された経緯など)
- ・各団体・高校生との意見交換会の取組
- ・議会発信の市民アンケートについて
- ・小学生の議会体験学習会について
- ・毎閉会日の議員研修実施について
- ・議会活性化委員会、議会政策研究会について



ようこそ 津久見市議会へ！

高校生の視点で津久見の活性化を考える

1月27日(金) 津高生との意見交換会 & 議会体験学習会～関連記事は、15 ページに記載



☆ つくみの宝 📦

白蓮幼稚園は昭和38年に開園し、今年度で61年目になります。当園は平成23年度から認定こども園となり、2年前からは0歳児も受け入れられることになりました。

園の特色としては、まず仏教保育として「まことの保育」を推進しています。これは浄土真宗本願寺派が進める保育で、親鸞聖人の生き様に学び、保育者と園児が互いに育ち合う保育を目標としております。写真は未満児ク

ラスの朝のらいはいの様子です。また、知能教育として「積木教室」を取り入れており、子ども達の集中力を高め、一人ひとりが主体的に考える力を育てています。健康面については、はだし保育（春から秋まで）や各種体力記録会が催され、園児たちがボール投げや縄跳び等、園庭で練習を重ねながら力いっぱい頑張る姿が見られます。

